

デジタルデータの作成・保存・公開方法

※本付録様式について

本付録様式は、本応募にて提案される事業の成果として作成されるデジタルデータの作成・保存・公開の方法に関して、より具体的な説明のために使用するものです。

各記載事項の枠内はテキストの他、図表などを適宜挿入してご使用ください。

本様式の記載項目は内閣府知的財産戦略推進事務局「デジタルアーカイブの構築・共有・活用ガイドライン」（以下、DA構築ガイドラインとする）

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/digitalarchive_kyougikai/guideline.pdfで示されたアーカイブ機関が行うべき事項に即したものです。本様式で使用する用語の定義は同ガイドラインに準拠します。

また、本様式の記載内容は、作成されるメタデータのメディア芸術データベースへの登録における技術的検討の資料となります。

なお、本様式は審査においての参考資料とさせていただきます。

【2. データの保存】
デジタルコンテンツ
メタデータ
データの長期保存の体制

付録資料 1 - 1 : メディア芸術データベースの記述項目 (共通項目)

項目名	記述例
ID	記入不要
タイプ	記入不要
サブタイプ	記入不要
ジャンル	記入不要
ラベル	記入不要
シリーズ名	
シリーズ名 (ヨミ)	
シリーズ名 (ローマ字)	
シリーズ名 (外国語)	
タイトル	
タイトル (ヨミ)	
タイトル (ローマ字)	
タイトル (外国語)	
サブタイトル	
サブタイトル (ヨミ)	
サブタイトル (ローマ字)	
サブタイトル (外国語)	
巻	
号	
バージョン	
作者	
作者 (ヨミ)	
スタッフ	
キャスト	
発行者	
公開年月日	
概要	
キーワード・タグ	
言語	
国際地域	
外部ID	
総回数	
開始年月日	
終了年月日	
関係 (isPartOf)	
関係 (hasPart)	

付録資料1-2：メディア芸術データベースの記述項目（関連資料）

項目名	記述内容	記述例
作者	作者（creator）を指定する。	
スタッフ	スタッフ（contributor）を指定する。	
発行者	出版者・頒布者を指定する。	
関連するコレクション	メディア芸術データベースの関連するコレクションを指定する。	
フォーマット	資料の物理的な形式を記録する。	
数量	資料の数量を記録する。	
大きさ	資料の物理的な大きさを記録する。	
素材	資料を物理的に構成する素材を記録する。日本目録規則2018年度版の「材料の種類を表す用語」を用いることを推奨する。	
GTIN	主にバーコードで記録される商品識別子（Global Trade Item Number）を記録する。具体的には、JANやUPCなどが該当する。	
ISBN	国際標準図書番号（International Standard Book Number）を記録する。	
ISSN	国際標準逐次刊行物番号（International Standard Serial Number）を記録する。	
全国書誌番号	全国書誌番号を記録する。	
国会図書館書誌ID	国会図書館書誌IDを記録する。	
OCLCナンバー	OCLCナンバーを記録する。	
外部の関連リソース	URIを持つ関連性の高いWeb上のリソースを記録する。	
著作権年	著作権表記で示される日付を記録する。	
制作地	資料の制作地を記録する。主に出版・頒布されない資料の場合用いる。	
出版地	資料の出版地を記録する。主にそれは、出版者の所在地である。	
サブユニットリスト	資料を構成するサブユニットを記録する。目次のように内容的なサブユニット、もしくは説明書やフライヤーのように物理的なサブユニットの両方がその対象になる。	
価格	資料の価格を記録する。主にメーカー希望小売価格がこれに該当する。	
提供者URL	メタデータ提供者によるメタデータ公開サービスにおける同一のリソースのURLを記録する。	
URL	資料のコンテンツにアクセスするためのURLを記録する。	
アクセス制限	資料へアクセスできるユーザーの範囲の指定やセキュリティステータスに関する情報を記録する。	
画像	サムネイルなどのリソースを示す画像のURLを記録する。	
保管者	資料を保管もしくは管理する責任主体を指定する。	
データ提供者	メタデータを提供する責任主体を指定する。	
状態	資料の状態に関する説明を記録する。（例：日焼け、表紙破れ）	
所有・管理履歴	保管者が所蔵する以前の由来に関する情報を記録する。	
メタデータ出典	メタデータを作成するにあたって参照した資料を記録する。	
メタデータ更新日	メタデータの最終更新日を記録する。	